教科	科目	単位数	学年	集団
家庭	家庭基礎	2	1	総合探究科

使用教科書	副教材等
図説家庭基礎（実教出版）	家庭科55デジタル＋（教育図書）

科目の目標

生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	人の一生と家族・家庭の意義、家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それに係わる技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現することができる。
③主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。

評価方法

①知識・技能：定期テスト、単元テスト、実習など
②思考・判断・表現：学習プリントの点検、パフォーマンス課題、発表、定期テスト、口頭諮問など
③主体的に学習に取り組む態度：学習プリントの点検、パフォーマンス課題、授業・グループ活動、発表の姿勢など

学習計画

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	A　人の一生と家族・家庭及び福祉	第１章 自分らしい生き方と家族	・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解し、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 ・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考慮し、生活設計を工夫しようとしている。	○	○ ○	○
5			・生涯発達の視点で青年期の課題や家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題などについて理解を深めている。 ・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、家族にかかわる法律や動向を理解し、自己の意思決定に基づき責任をもって行動し、共に協力して家庭を築くことの意義や重要性について考察しようとしている。	○ ○	○ ○	○
6	A　人の一生と家族・家庭及び福祉	第２章 子どもとかかわる	・乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解し、乳幼児と適切に関わるための基礎的な知識や技能を身に付けている。 ・子供を生み育てることの意義や、親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性や課題について考察したり、乳幼児との触れ合い活動などに関わろうとしている。	○	○	○
7	A　人の一生と家族・家庭及び福祉 D　ホームプロジェクトと学校家庭クラブ 期末テスト	第３章 高齢者とかかわる ホームプロジェクト	・高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解し、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 ・これまでの学習を生かし、自己の家庭生活の中から課題を見いだし、課題解決を目指して主体的に計画を立てて実践する問題解決能力と実践的態度を身に付けようとしている。	○ ○ ○	○ ○	○ ○

9	A　人の一生と家族・家庭及び福祉 D　ホームプロジェクトと学校家庭クラブ C　持続可能な消費生活・環境	第４章　社会とかかわる 学校家庭クラブ 第８章　経済的に自立する	・生涯を通して家族・家庭の生活課題を主体的に解決していくために必要な福祉や社会的支援について理解し、地域社会の一員としてできることを考察し、実践的な活動に取り組もうとしている。 ・生活の基盤としての家計管理の重要性や家計と経済との関わりについて理解し、収入と支出のバランスやリスク管理、資産形成などを踏まえながら、生涯を見通した経済計画について考察し、工夫しようとしている。	○	○ ○	○ ○
10	C　持続可能な消費生活・環境 B　衣食住の生活の自立と設計	第９章 消費行動を考える 第７章 住生活をつくる	・消費生活の現状と課題、適切な情報収集や意思決定、契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解し、責任ある消費行動について考察し、工夫しようとしている。 ・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能や地域社会との関わりについて理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付け、よりよい住生活のあり方について考察し、工夫しようとしている。	○ ○	○ ○	○ ○
11	B　衣食住の生活の自立と設計	第６章 衣生活をつくる	・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装、被服材料、洗濯、及び安全、環境に配慮した被服の計画・管理など衣生活に関わる基本的な知識と技術を身に付け、生涯を通して健康で快適な衣生活が営むことができるよう被服計画を立て、工夫しようとしている。	○	○	○
12	B　衣食住の生活の自立と設計 D　ホームプロジェクトと学校家庭クラブ 期末テスト	ホームプロジェクト	・日常の衣生活において必要な修繕やリフォームなどの技術を身に付け、資源の有効活用の観点から持続可能な衣生活について考察し、工夫しようとしている。 ・これまでの学習を生かし、自己の家庭生活の中から課題を見いだし、課題解決を目指して主体的に計画を立てて実践する問題解決能力と実践的態度を身に付けようとしている。	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
1	B　衣食住の生活の自立と設計	第５章 食生活をつくる	・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。	○		
2	学年末テスト		・食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察し、自己や家族の食事を工夫しようとしている。	○	○ ○	○ ○
3	D　ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	学校家庭クラブ	・これまでの学習を生かし、学校や地域の生活の中から課題を見いだし、課題解決を目指して、グループで主体的に計画を立てて実践する問題解決的な学習活動に取り組もうとしている。		○	○